

# 平成 30 年度事業報告書

認定NPO法人TSUBASA

## 1 事業の成果

平成 30 年度に力を入れて取り組みたい事業は次の通りでした。

- ① 「バードライフアドバイザー認定講座（以後BLA）」の拡大
- ② 里親会の様々な需要に合わせた取り組み
- ③ 愛鳥祭初の 2 日連続開催
- ④ 無料配付の季刊誌を用いた、鳥と暮らす上で必須となる基礎情報の普及

### 【成果】

- ① バードライフアドバイザー認定講座を広く一般に広げる事を目指し、全国で企画開催を行いました。また 2 級保持者の方のポイント取得に合わせた多数の、スキルアップセミナーを開催しました。  
飼育に正解はないからこそ、広く多くの情報を提供しそれを受けて、鳥にあった情報を愛鳥家の皆様が、選び取れるようになってほしいと考えています。  
また、2 級は本年より理事の涌井も講師を受け持つことになりました。
- ② ・ヨウム専門里親会の開催  
ワシントン条約 I 類種となったヨウムを専門とした里親会を開催しました。人気の裏側にある問題、環境省への届出についてなどの情報をヨウムに興味のある方にお伝えしました。  
・関東圏外里親会（バーチャルMTB）の開催  
初となる取り組みを大阪で行いました。出会いは全国どこにでもあると信じて、多くの方が親しみやすい里親会を目指しています。  
・地域連携型里親会の開催  
神奈川県横浜市栄区と協力し、多頭飼育崩壊現場のセキセイインコの環境改善並びに譲渡会開催の支援をしました。TSUBASAとして実質受け入れをできる羽数には限界がある中で、施設で受け入れをせずその地域のサポートとして、里親探しをするという新しい道のテストケースとなりました。
- ③ 今年で 3 回目の開催となる愛鳥祭は、前年以上の動員数を達成いたしました。  
(2016 年 約 800 名来場・2017 年 約 1,100 名来場・2018 年 約 1,500 名来場)  
今回は、初めてとなる 2 日連続（土日）開催としたことや、勉強会に関心を持ってもらうため、毎年行っている無料セミナーに加え有料セミナーブースも設置しました。  
また、施設のお掃除ボランティアの方々によるTSUBASAの鳥の為のオモチャ作りコーナーも初めて設置し、多くの方にお楽しみ頂きました。
- ④ 毎年、年に二回発行している季刊誌では多くの情報を取り扱っています。2018 年は、今まで非常に多かった質問や、飼育の上で非常に重要な事をまとめた「回覧板特別号なるほど！バードライフの知っておきたい 10 のポイント」を発行しました。紙媒体であること・無料であること、これら 2 つが功を奏し多くの方に閲覧していただくことができました。また、動物病院などでも大変ご好評を頂き設置していただけています。

2 事業の実施に関する事項（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数		支出額(千円)
(1) 鳥類適正飼養に関する教育啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛鳥塾</li> <li>・愛鳥祭</li> <li>・同鳥会</li> <li>・セミナー・フォーラム・シンポジウム</li> <li>・バードライフアドバイザー認定講座3級、2級</li> <li>・スキルアップセミナー</li> <li>・リーフレット設置、季刊誌の作成等</li> <li>・バードラン</li> </ul>	通年	埼玉県新座市及び全国	8名	全国の愛鳥家・動物保護に関心を持つ方	3000名	6,686
(2) 鳥類の保護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親会(MTB)開催</li> <li>・レスキュー引き取り事業等</li> <li>・鳥の飼育業務</li> </ul>	1月から12月まで定期開催	埼玉県新座市	8名	全国の愛鳥家	150名	20,381
(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業	飼鳥のペレット読本 鳥種別リーフレット	通年	埼玉県新座市	7名	獣医師他	4476名	194
(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査・研究・開発事業	健康管理に係る食餌、気温の調査	毎日	埼玉県新座市	8名	全国の愛鳥家	—	—
(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生の受け入れ</li> <li>・特別授業</li> </ul>	随時	埼玉県新座市	7名	学生一般	100名	—
(6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ティアハイム(ドイツ)訪問</li> <li>・国際オウム会議(スペイン)参加</li> </ul>	1回	ドイツ・スペイン	2名	—	—	— (従事者個人支出)
(7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務	鳥の餌 おもちゃなどの販売	随時	埼玉県新座市	6名	施設来訪者	700名	1,197

(8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営	H30年度は活動実績なし	—	—	—	—	—	—
(9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業	・書籍 ・カレンダー ・コースリボンなど	随時	埼玉県新座市	6名	施設・イベント来訪者	700名	104

(2) その他の事業 なし

### 3 各事業の活動内容等

(1) 事業名 鳥類の適正飼養に関する教育啓蒙事業

1：愛鳥祭

日時：2018年5月26日、27日

場所：東京都浅草

ボランティア参加 47名

ご来場者数 約1500名

内容：

- ・セミナー無料（土日両日開催）
  - 「ペットロスとうまくつきあおう」
  - 「愛鳥さんの住まいを暖かくするヒント」
  - 「バーチャルMTB」
  - 「鳥達に「優しく」いるためにできること」
  - 「鳥って〇〇ですよ」
  - 「飼い鳥の栄養学について」
  - 「飼鳥の感染症 なぜなぜなに！」
- ・セミナー有料（日曜開催）
  - 「飼鳥の感染症のいろいろ」
  - 「愛鳥との生活に取り入れたいABA（応用行動分析学）入門」
  - 「飼い鳥ブームの歴史を振り返る」

・クリエイター雑貨即売会

13組の企業、39組のクリエイターの雑貨の展示即売会

・ふれあい愛鳥塾

鳥との関わり方、接し方を実際の鳥達に協力してもらいながら学べる体験コーナー。今回は、鳥との接し方のレクチャーを映像で流すことで整理券を持たない方にも広く伝えることができました。

・鳥さん相談コーナー

飼育のプロによる、飼い方の無料相談ブース

- ・施設のお掃除ボランティアの方々によるTSUBASAの鳥の為のおモチャ作りコーナー  
初めて設置し、多くの方にお楽しみ頂きました。

2：バードライフアドバイザー3級認定講座

開催地、開催日

東京：2/3、6/5、6/15、10/14 金沢：9/16

福岡：7/22 新潟：4/7 松山：1/8

北海道：7/1、11/17 高知：11/11 大分：12/2  
大阪：3/11、6/8 愛知：6/3 仙台：10/28 宇都宮：3/4  
合計 17回 受講者 557名  
担当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）  
内容 日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である  
「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、  
愛鳥家に3級のテーマ「鳥と私が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの  
活動や考え方をお伝えしました。

3：バードライフアドバイザー2級認定講座  
開催地、開催日（講座受講は1度の受講で2日連続講義）  
東京：2/11・2/12、11/24・11/25 大阪：6/9・6/10 名古屋：7/15・7/16  
合計 4回開催（8日間）  
受講者 180名  
担当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、塩谷（副代表理事）、涌井（理事）  
講師 眞田先生（小鳥の病院BIRDHOUSE、CBL）、石綿様（ALETTA代表）、  
木村様（ナチュラリスト/東京都鳥獣保護管理員）、  
小柳様（小鳥の病院BIRDHOUSE看護師）  
内容 日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である  
「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に  
2級のテーマ「鳥と私と貴方が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの  
活動と3級より掘り下げた内容を専門講師と共にお伝えしました。

4：BLA2級スキルアップセミナー  
開催地：東京、大阪、仙台、札幌、名古屋、福岡、高知、松山  
合計 15回開催  
担当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）・涌井（MPO法人TSUBASA理事）  
内容 BLAの2級を取得済みの方が対象になるセミナー。日々更新される鳥達の  
飼い方の最新情報を常に取り入れる事を目的としています。  
2級は更新制で、BLAポイント対象のセミナー等のイベントに  
3年間で20ポイント分、参加する必要があります。スキルアップセミナーは、  
ポイントが取得できる対象となります。

5：その他勉強会等イベントの開催  
上記以外でも、以下のイベントに主催あるいは参加しました。（時系列）  
「個人主催 セキセイインコ会」とり村開催  
「個人主催 ミニマコウ&南米たちの愉快的カーニバル」とり村開催  
「愛鳥塾 愛鳥さんと季節の変わり目を乗り切ろう」主催  
「個人主催 おうむバタン会」とり村開催  
「個人主催 ウロコがウロコの友達を作る会」とり村開催  
「動物慰霊祭」主催  
「夏休み ミニ愛鳥塾」主催  
「とり村納涼祭」主催  
「ボランティア体験ツアー」とり村開催

「TSUBASA卒業鳥同窓会」主催  
「個人主催 愛鳥のための野菜嫌い克服術」とり村開催

「ジャパンバードフェスティバル(JBF)」 出展  
「ヤマザキ学園絆祭」 出展  
「個人主催 同鳥会マコウミーティング」 とり村開催  
「初めてのバードラんどきどきデビュー会」 主催  
「行動理解ワークショップ」 主催  
「オカメン舞踏会」 主催  
「集まれ！クリスマスカラーの鳥さん会」 主催

(2) 事業名 鳥の保護事業

保護するだけにとどまらず、新しい里親を探す活動も含まれます。

1 : TSUBASAで暮らす鳥の里親探し

・里親が決まった数：計 35 羽

内訳：文鳥 (3 羽) /セキセイ (17 羽) /オカメインコ (1 羽) /オオハナインコ (1 羽)  
サザナミ (1 羽) /コザクラ (2 羽) /クルマサカ (1 羽) /オオホンセイインコ (1 羽)  
アキクサインコ (2 羽) /シモフリインコ (1 羽) /ワカケホンセイインコ (1 羽)  
ナナクサインコ (2 羽) /キバタン (1 羽) /ヨウム (1 羽) /

・鳥の里親会 (MTB:Meet the bird) 開催

普段、施設で暮らす鳥達の里親会。毎月開催を目標としています。

里親会参加者数：約 200 名

開催日：1/28、3/18、4/22、6/24、7/28、8/26、9/29、10/27、11/11、12/23

・小型鳥の里親会 (S-MTB )

通常の物とは異なる、中小型の鳥を専門とした里親会の開催。

開催日：4/8

・ヨウムの里親会

ヨウムを専門とした里親会の開催

開催日：8/16、8/19

・関東圏外里親会 (バーチャルMTB)

最低 3 回は施設に足を運ぶ必要のある里親会の負担を減らし、全国どこの方でも  
里親制度に興味を持ってもらえる事を目指して開催。

開催日：7/1 (大坂)

・横浜セキセイインコ譲渡会

150 羽を超える多頭飼育崩壊現場のセキセイインコの治療並びに、里親会の開催支援。  
主催の「動物と仲良く暮らせる街作り協議会」様と横浜市栄区が中心になった譲渡会を  
サポートしました。里親会では 48 羽のセキセイインコに家族が決まりました。

開催日：3/21

2 : 外部からの鳥の引き取り：17 件、24 羽の鳥を引き取りました。

2018 年のレスキュー案件はありませんでした。

(レスキュー：飼い主不在/事前健康診断ができない/書類が出せない/緊急性が高い)

5 件 6 羽は、高齢者の飼育困難、死亡により。

5 件 6 羽インコ由来の呼吸器疾患、喘息、アレルギーにより (年令問わず)

5 件 10 羽は、家庭都合 (引っ越し、飼育放棄) により。

高齢ではない飼い主の病気による引取は本年該当なし

2 件 2 羽は、鳥の問題行動により。

3 : 鳥のお世話に関するボランティア  
日時 : 毎日 9:00~17:00 (時間はボランティア様選択制)  
延べ人数 : 計 1015 人

(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業

1 : 鳥類獣医師の集まりである「鳥類臨床研究会」にて作られた情報をもとに、鳥の種類別のリーフレットを作成販売しました。2018 年はとり村店舗でも販売いたしました。

2 : 飼鳥のペレット読本

小鳥の病院BIRDHOUSE院長眞田直子先生に執筆していただき、書籍の製作販売を行いました。愛鳥家の方はもちろんのこと、獣医師の集まるイベントなどでの販売も行いました。

(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査研究、開発事業

毎日の施設の鳥達の健康管理を通して、飲水量、糞便検査、血液検査、気温の変動による体調の変化などをチェック。これらを愛鳥家の方々に愛鳥塾やブログにフィードバックし、よりよい適切な飼育環境を目指し、調査を実施。また、飼い鳥のためのよりよいケージ開発を目指す獣医師の試作ケージを鳥達に使用し、改善希望点などを伝えました。

(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動

日本で唯一の認定NPO法人として活動する飼い鳥の保護施設である当団体には、学校からの依頼により実習生を随時受け入れ、保護施設の清掃をはじめ飼い鳥との接し方、保定、治療や看護について、実践的な学びの場を提供している。

【平成30年度研修の受け入れ並びに、講義を行った学校】

東京コミュニケーションアート専門学校・大宮国際専門学校  
日本ペット&アニマル専門学校・中央動物専門学校

(6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業

ドイツ、ベルリンにある世界最大級の保護施設の取材を実施しました。  
スペイン、カナリア諸島で4年に一度実施される国際オウム会議に参加しました。  
(※いずれも参加者が個人支出しました。)

(7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務

鳥のための用品(ケージ、餌、おもちゃ等)が該当します。  
鳥たちと愛鳥家の皆様のためにお勧めできる餌、おもちゃなどの販売を実施しました。また、時間のあるお客様にはご注文いただいた商品の取り寄せ販売も実施いたしました。

(8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営

→平成30年度は実績なし

(9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業

鳥を飼う方向けの用品(飼育書等)が該当します。

TSUBASAを広く普及するための雑貨（コースリボン）、カレンダー、

#### 4 各種メディアでの活動内容の報道実績について

- (1) コンパニオンバードNo. 29、No. 30
- (2) ラジオ
- (3) 読売新聞

#### 5 会員数、寄附者、ボランティアなど

正会員	:	299 人
賛助会員	:	215 人
法人会員	:	0 団体
名誉会員	:	19 人
寄附者	:	延べ 875 人
鳥のスポンサー	:	延べ 229 人
鳥のお世話に関するボランティア	:	延べ人数：計 1,015 人
プロボラなど	:	4 名

また、募金箱への募金、支援物資の提供（ウイッシュリスト含む）、古本の提供（きしゃぼん）、支援の羽の提供、募金箱の設置、リーフレットの設置、鳥達のおもちゃ作り、支援を目的としたイベントの開催、動物愛護イベント等での啓発発動、SNS等によるPRなど、様々な形でご支援を頂きました。